

コロナ禍での院内感染対策研修会

瀧田正亮

歯科口腔外科 元中津年報編集委員

会期：令和3年10月14日

会場：大阪府済生会中津病院西棟13階体育館（参加者148名）

標題：新型コロナウイルス感染症とその対策について

講師：岡部信彦川崎市健康安全研究所所長

司会：安井良則大阪府済生会中津病院感染対策委員会委員長

主催：大阪府済生会中津病院感染対策委員会 感染対策チーム 抗菌薬適正使用支援チーム

はじめに

本院とも関係のある講師による院内感染対策研修会に参加する機会に恵まれたので、講演内容の概要と質疑を記録した。また参加者の一人として感銘を受けた箇所を付記した。

講師岡部信彦先生と本院との関係

岡部信彦先生は内閣府の特別参与、厚生労働省の新型コロナウイルス専門家会議委員としてわが国の新型コロナウイルス対策の中心に参画されているが、ご専門は小児科学という経歴から、なるほどと思われる優しい論調で科学的なデータをもとに講演をしてくださった。本院感染対策委員会委員長安井先生は岡部先生と平成12年の大阪府堺市のセラチア院内感染や翌年平成13年の同市麻疹流行時の共同疫学研究の経歴があり¹、その後も安井先生は岡部先生のもとで感染予防の疫学指導を受けられていた。また岡部先生の共同研究者の一人三崎貴子先生は本院に勤務されていた小児科医で、当時大阪乳児院における感染症の流行についての論文が中津年報に残されている²。

講演内容

当日の参加者には受講後も繰り返し内容を確認ができるよう講演スライドのデータコピーが配布された。

主な内容を列挙すると地球規模での感染症の歴史、華南海鮮卸売市場におけるアウトブレイクの初期の状況、世界各国の感染状況・死亡者数、日本でのクラスター発生の推移、主要都道府県のICU全患者に占める

コロナ以外の患者数の推移、学校・塾等における感染状況（むしろ家庭での大人との関わり合いの影響が大きい）、鼻粘膜のCOVID-19のレセプターACE2は年齢とともに増加するために小児での感染率が低い、ワクチン接種率・接種回数からみたワクチン接種の有効性、 α 株と δ 株感染陽性者の致死率には両者には差が見られない、諸外国と日本のワクチン接種率の比較と流行状況（日本では出遅れたため δ 株による感染が低くなっている可能性がある）等である。

予防面については、換気の不十分な環境が多くの2次感染者を増加させることから当然のことながら3密を強調され、会食も換気の良い場所で2時間以内の少人数ならば感染率が低いこと等メリハリをつけた予防を強調された（この時、「この会場は換気が十分行き届いています」と自身のマスクを外され講演を続けられた）。また、後遺症という用語の使用は不適切で正しくは「COVID-19後に遅延または新たに現れた症状」とするのが正しい、とされた。オリンピック関連では期間中54,250人の入国者を対象とした空港検疫、スクリーニング検査では陽性者の割合は0.2%までと低い水準にとどまり、医療機関（入院）想定試算8.5人に対して実績は2名であり医療の圧迫は見られなかったことも示された。結語として、COVID-19に対してはマスコミ報道に惑わされることなく注意すれば普通の生活ができることを強調され、「ウイルスが嫌うのは『人の優しさ』です。人への思いやりがウイルスを

やっつけます」と結ばれた。

質 疑

質疑では呼吸器内科から2件、小児科、血液内科、歯科口腔外科、そして司会者から各1件、重症患者への対応、家族への対応等について、各専門領域から出され有意義な回答と助言がなされた。なお、一つの質疑としてCOVID-19は飛沫感染症でありながら亡くなられた方にはエボラ出血熱のような接触感染症としての対応がなされ、ご遺族が対面できない現在の辛い体制についての疑義が出された。これに対して、通常の死後処置をして体液が漏出しないようにすれば遺族の方の最期の対面には問題はない、と説明された。この質疑からは未知の感染症の恐怖に対する社会の誤った心理行動面が背景にあることへの認識が必要なことが示唆された。

今回の講演を通じて岡部先生の小児科医としての優しいお人柄の一面が講演の結語に表れていたことを参加者の一人として感じた。それは日本小児感染症学会を主導され、日本子ども虐待防止学会を主催された故小池通夫先生（小児科学）の講演³にも相通じるものがあった。今回のCOVID-19に関わらず、地球規模で発生するあらゆる感染症に対してもまず「人の優しさ、人への思いやり」が必要なことを忘れてはならないという示唆が岡部先生の講演の結語に示されたことに強く感銘を受けた。そして、本講演からわれわれは、感染症への疫学的データを正しく理解し、それを医療と社会に普及させることで、感染症患者への誹謗中傷のない社会環境を目指さなければならないことを学んだ。

参考資料：講演スライドデータの主な出典（配布資料より）

WHO WER 2021

厚生労働省ADB 押谷2021

文部科学省データ 2021

JAMA Network 2020. 323: 2427-2429

厚生労働省アドバイザリーボード資料 2021

厚生労働省ADB 感染研

大東文化大中島提供資料2021

新型コロナワクチンの有効性を評価した疫学研究の暫定報告 長崎大学 2021

川崎市健康安全研究所 三崎 2021

川崎市健康安全研究所感染情報センター資料

ADB資料後遺症研究報告（福永班）2021

新型コロナウイルス厚生労働省対策本部クラスター対策班 2021

新型コロナウイルス感染症対策分科会提出資料 富岳によるシュミレーション 2020

国立感染研究所 感染症学センター 新城雄士, 他 TOKYO 2020

Loske J, et al: Pre-activated antiviral innate immunity in the upper airways controls early SARS-CoV-2 infection in children. Nat Biotechnol, 2021

参考文献

1. 安井良則, 砂川富正, 藤岡雅司, 他: 大阪における麻疹および麻疹予防接種調査結果と麻疹対策 堺市における保護者を対象とした麻疹および麻疹ワクチンに関するKAP studyと麻疹対策を中心に. 小児感染免疫, 2003. 15: 95-102
2. 三崎貴子, 堀川優子, 大和謙二, 他: 大阪乳児院における感染症の流行について—RSウイルス感染症を中心に—. 中津年報, 2005. 16: 243-247
3. 瀧田正亮, 西川典良, 高橋真也, 他: 口腔外科栄養フォーラム—16年間の特別講演からみた歩み. 中津年報, 2019. 30: 278-280